<u>システム</u>



Google マップと Bing Maps オーバレイの直接使用

Google マップや Bing Maps の Web ブラウザでオーバレイとして表示することができる標準のラスタタイルセットは、 TNTmips の表示やタイルセットに対応する他の処理でラスタレイヤとして直接使用できます。これらのタイルセット * は 標準 Web タイルセットと呼ばれ、その構造は Google と Microsoft によって定義されています。これらの標準 Web タイ ルセットは TNTmips や他のソフトウェアで用意することができ、インターネット上のどこにでも置くことができます。 TNTmips でこれらを使用するには、〈オブジェクトの選択 (Select Objects)〉ダイアログ中でタイルセットへのリンクを選 択するだけです。Web ベースのレイヤの選択についての詳細は、テクニカルガイド「システム:インターネット上の地図 や画像の使用 (System: Using Internet-based Maps and Images)」をご覧下さい。

タイルセットを使用するのに選択する ファイルは、標準Webタイルセットと同じ 名前を持つ小さなタイルセット定義 (TSD) リンクファイルです。TNTmips はこの XML ファイルを使い、表示に必要なタイ ルへアクセスし、ローカルまたはインター ネットソースから取って来ます。TSD ファ イルはユーザのハードドライブや LAN、プ ロキシサーバ、またはインターネット上に 置くことができます。TNTmips で作成した 標準Webタイルセットでは、TSD リンク ファイルが自動的に出来ます。タイルセッ トが TNTmips で作成したものでない場合、 TNTmips を使って TSD ファイルを作成で



きます。他のソフトで作成されたローカルまたは LAN 上の標準 Web タイルセットの TSD ファイルは、TNTmips の [タイルセット (Tileset)] > [リンク (Link To)] 処理で作成できます。他のソフトによって生成さ れたインターネットベースの標準タイルセットの TSD ファイルは、[タ イルセット (Tileset)] > [マネージャ (Manager)] を使って手動作成およ び保存できます。

ユーザが作成した TSD リンクファイルを使ってインターネット 上の他のタイルセットを TNTmips で参照することが合法かどう かは、あなた自身の責任です(合法的に使えるのは、所有権や 著作権がない場合だけであり、それ以外は私的使用は制限され ています)。例えば Google マップや Bing Maps によって提供さ れているベースマップや画像レイヤは、各々の所有権が設定さ れています。

標準 Web タイルセットをレイヤとして表示ウィンドウに 追加する際、その座標系や縮尺、その他の情報が変換されま す。レイヤ表示時の追加のオプションは、タイルセットのレ イヤコントロールウィンドウを使って設定することができま す。[オプション (Option)] タブパネルで以下のことができま す。

- スライダを使ったタイルセットの透明度や彩度の調整
- どのセル値を透明にするかの指定
- (拡大する際の)引き伸ばしに使用するリサンプリング方法の選択
- 陰影の適用
- 表示画面にタイルの境界とズームレベル、行、列の表示

他のラスタレイヤと同様、シャープニング、平滑化 (ノイズ除去)、エッジ検出などの統合的なフィルタが使用できます (詳細についてはテクニカルガイド「空間表示:画像のインラインフィルタ (*Spatial Display: Inline Filtering of Images*)」 を参照)。表示中のフィルタの寄与の比率をスライダでコントロールできます (0 = フィルタ適用しない、100 = フィルタ 完全適用)。

*Google は自らのタイルセット構造を "タイルオーバレイ"と呼びます。Microsoft は自らのタイルセット構造を "カスタムタイルオーバレイ"と呼びま す。これらのタイルセットの構造の詳細については、テクニカルガイド「タイルセット: Google マップのタイル構造 (Tileset: Google Maps Structure)」と 「Bing Maps のタイル構造 (Bing Maps Structures)」をご覧下さい。





選択したタイルセットのタイル境界やラベルを表示することが できます。